

曹洞宗

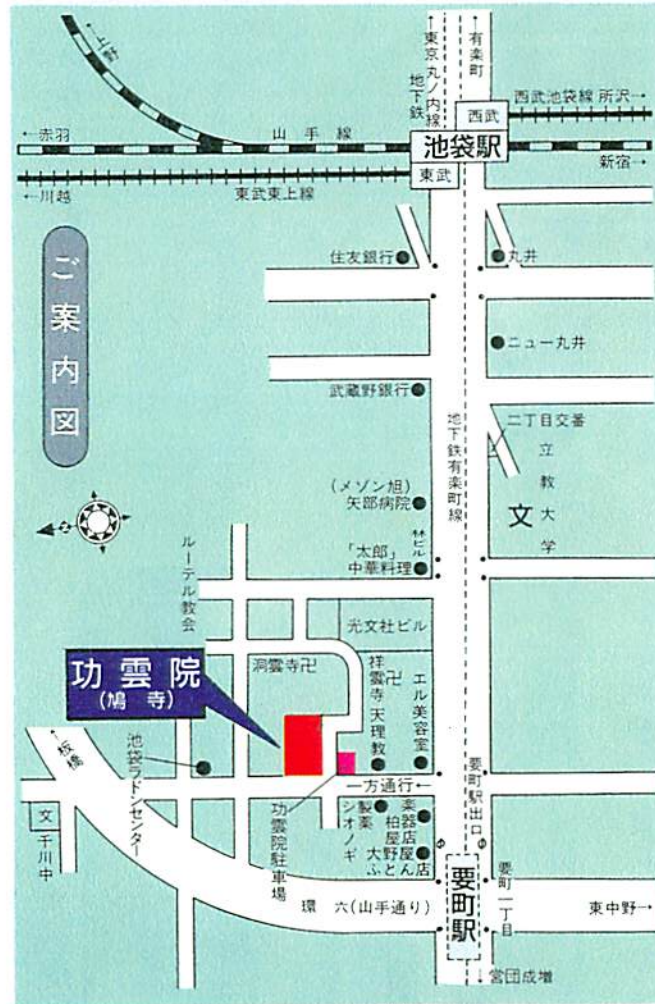


功雲院

通称鳩寺

交通のご案内

- JR山の手線：池袋駅西口より徒歩13分
 - 営団地下鉄有楽町線：要町駅より徒歩2分
- ※池袋駅寄りの出口No.5をご利用下さい。



鳩峰山 功雲院

〒171 東京都豊島区池袋3丁目5番9号
☎ 03-3971-8865
FAX 03-3971-8175



檀信徒会館のご案内

「人々の集い」を大切に考えています。

当会館は副都心池袋駅からゆっくり歩いて行ける距離にあります。

70名様を収容できるスペースを持ち、檀信徒はもちろん、一般の方々までたくさんの方に、ご法要から会席にと、巾広くご利用いただいております。

特にご葬儀（お通夜・告別式）・法要等の仏事には数多くご使用いただいております。

専門料理店より、四季折々の旬の味覚をお届けできる身近な会館です。

功雲院 檀信徒会館

〒171 東京都豊島区池袋3丁目5番9号
☎ 03-3971-7616

功雲院の歴史

きゅうほうざん 鳩峰山功雲院は元高輪泉岳寺の塔中で、たつちゅう 本山は福井県の永平寺と神奈川県鶴見の総持寺で禅宗の曹洞宗に属します。

かいき 開基は京都福知山藩祖朽木河内守元綱の息女 くちき こうちのかみ で堀采女正直廣の正室・功雲院殿一鑑妙純大姉です。

慶長18年(1613)泉岳寺境内に人命救助の鳩供養のため観音堂を建立し、開闢の祖一松宗全和尚をお迎えしたのが功雲院の始まりです。その後高輪泉岳寺第23世住職心光海印大和尚が、功雲院の開山(第1世)となられ、高輪泉岳寺の塔中となったと記されております。

江戸時代は高輪泉岳寺表客殿を兼ねていた所から引接院とも称しておりました。

高輪泉岳寺には歴代の福知山藩主・福島二本松藩主等の墓がある関係で、その家臣の墓が当院にありました。

そして、その子孫が現在まで続いている檀徒も多くいらっしゃいます。

明治43年(1910)に墓地を現在の池袋に移転し、あとに本堂、庫裡、檀信徒会館を建立し、今に至っております。

合掌

功雲院 第17世住職 佐藤信教



昭和45年本堂建立

鳩寺と呼ばれる由来

堀家に嫁いだ開基さまが、十八歳の時病気になり、実家の朽木家へ帰り養生中に、鳩が「この薬を煎じてお茶のかわりに飲めば治る」との夢を三晩続けてみられました。その事を侍医に話したところ、それは大変良い薬(三枝九葉草と言われてます)であるから飲みなさいといわれ、毎日続けているうちに、いつとはなしに全快されました。四十二歳の時高輪泉岳寺内に観音堂を建立し、有髪のまま鳩の供養をし、疲れた時は実家へ帰り養生し、元気になれば観音堂へ戻り余生を過され、八十二歳でおなくなりになった。この事から誰れとはなく功雲院を鳩寺と呼ぶようになりました。



開基様のお墓